

皆さんとともに、住み良いまちづくりを進めていきます

平成 30 年度

6 月補正予算 の概要をお知らせします



津山市長 谷口圭三

今年度の当初予算は、2月に市長選挙があったため、市民生活への影響に配慮しながら義務的な経費や継続的な事務事業に要する経費を中心に構成された「骨格予算」となっていました。

このたび6月議会で採択された6月補正予算では、「肉付け予算」として、当初予算で計上を見送った総合計画主要事業※1や総合戦略事業※2のほか、新たに取り組むこととした政策的事業の予算などを計上しています。

これにより、一般会計の補正予算額は11億198万4千円の増額となり、補正後の今年度の予算総額は487億198万4千円となりました。

6月補正予算の主な事業を紹介します。

図財政課☎32-2020

- ※1 平成28年度から10年間の市政運営の指針となる「津山市第5次総合計画」の中で予定している事業のこと
- ※2 人口減少・少子化を食い止めて活力を創出し、住みやすいまちにするために定めた「津山市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づき実施する事業のこと



子育て支援



**放課後児童クラブ支援員キャリアアップ
処遇改善事業** 1376万円



放課後児童クラブがより一層、安全・安心な居場所になるよう、クラブ支援員の処遇を経験などに応じて改善し、人材の安定的な確保や児童の育成支援能力の向上を図ります。

新規事業

第2子保育料無償化事業（3～5歳児、所得制限あり） 2271万円



子育て世帯の経済的負担を軽減し、子どもを生み育てやすい環境を整備するため、これまでの第3子以降に加え、新たに3～5歳児の第2子の保育料を所得制限を設けた上で無償化します。

教育環境の 充実



新規事業

教師業務アシスト員配置事業 364万円

小中学校の授業や生徒指導の充実など、教員が本来の教育活動に専念できるようにするため、教員の事務作業を補助する教師業務アシスト員を各校に配置します。

新規事業

部活動指導員配置事業 203万円

中学校の部活動の指導体制や質の充実を推進し、部活動の顧問となっている教員の負担を軽減するため、部活動指導員を各中学校に配置します。

学校ICT環境整備事業 1531万円

子どもたちの学習意欲や学力の向上を図るため、教員が授業で使用する指導用タブレットパソコンやデジタル教科書などのICT（情報通信技術）機器を小中学校に導入し、視覚効果の高い、分かりやすい授業づくりを進めます。（校舎の大規模改修を行う学校については一部導入）
※6～7ページに関連記事あり

地域産業の 発展



津山のほほえみブランド化事業 364万円

津山産小麦「津山のほほえみ」のブランド化を目指し、利用店舗の新規開拓や生産振興を図るほか、品質を上げ収穫量を増やすための湿害対策モデル事業を実施します。



つやま和牛ブランド化事業 557万円

津山で繁殖・肥育した和牛を「つやま和牛」としてブランド化するため、消費者へのPRや仔牛の安定的な確保、肉質の向上に向けた畜産農家への支援などに取り組めます。

新規事業

産官学連携事業補助金 275万円

津山商工会議所が岡山大学と締結した包括連携協定に基づき実施するセミナーや出前講座の開催など、「岡山大学津山スクール」を拠点とした人材育成を図る取り組みに対して補助を行います。

道路・町並みの 整備



総社川崎線（沼・林田工区）整備事業 1億1880万円

都市計画道路の総社川崎線（沼・林田工区）を整備して交通アクセスの円滑化を図り、市街地の渋滞緩和や通学路の安全性の向上、交通事故の抑制に取り組めます。

社会資本整備総合交付金事業（交通安全施設整備） 2億4313万円

歩行者や自転車の通行を安全かつ快適にするため、歩道整備工事や交差点改良工事などを行い、交通事故の防止や交通難所の解消に取り組めます。

重要伝統的建造物群保存事業

3200万円

国選定の城東重要伝統的建造物群保存地区の建造物の修理や新しい建物の修景を進め、町並み景観の維持向上と観光資産としての町家の価値向上に取り組めます。

